

# 中村進学会の細部紹介②

## 【校舎徹底紹介/細部に拘り指導します】

## 中村にしかないオリジナル

### ① 中村のシンボルマーク 3-1 -----

中村進学会はsince1999。無限の可能性を秘めた**子供**たち、**元気**、空高く輝く**「星」**のように、それぞれの思い描く「**スター**」になってほしいという願いを込めて作成しました。「ペン」を持った子供たちが輪になったシンボルマーク。ペンを掲げて「やるぞ！」とジャンプする動き。明るく元気で印象に残るシンボルマーク。中心にできた「星」が輝かしい子供たちの未来を暗示しております。「**恥ずかしくない大人へ**」をスローガンに昭和の良き時代の考え方を持つ学習塾であり続けていきます。**個別プラス全体指導プラス 30 分暗記**、これも中村のオリジナル！**2 時間半のロングラン学習**。

### ② こだわりの自転車整理 3-2 -----

「中村さんの自転車はいつも整頓されていますね」こんな声を保護者の方々から頂いております。この言葉は何よりうれしい言葉です。我々は子供たちに「**何か一つでも一番になろう！**」「100 点を 1 科目でも取ってみよう！」こう話しております。子供たちに言うばかりではいけませんので、我々にも 1 番になれるものを、オンリーワンのものをと考え、この自転車整理を全校舎の第一命題として掲げています。これを読んで頂いている保護者様、中村の自転車が整理されていないことがありましたら、遠慮なく各校舎に電話をください。「自転車できていないですよ」と。365 日のうちたまたま 1 日整理・整頓ができていなかった、それは日ごろできていないのと同じ。こう考えてやっております。このこだわり、細かさを指導へも取り入れております。中村の自転車は圧巻である、**オンリーワン**である、これを継続していきます。

### ③ 中村新聞 3-3 -----

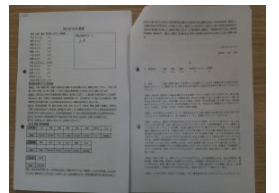
左記の物は西春校舎の物です。毎月小学生版、中学生版に分けて発行しております。保護者様とは入塾の際には我々講師と多くの会話を重ね、納得して入塾頂いております。しかし普段、毎回、指導の様子をご覧いただくというわけにはいかず、中村新聞は子供たちの様子、発言などをリアルタイムにお届けするものとなっております。小学生はチャレンジ学習という学校ではあまり学ばないことを学ぶ場が中村にはあります。そこで頑張った子はこの新聞で紹介させて頂いております。また、普段中村の講師がどのような日常生活を送っているかの紹介や、中学生版は講師が行っていた**暗記法の紹介**や、**テスト前の時間の使い方**なども載せております。西春責任者、大和は無類の映画好きで、自分が見た映画の中で子供たちにどうしても見てほしい物の紹介なども行っております。

### ④ 反省席・修行席 3-4 -----

中村の各校舎には「反省席・修行席」があります。まれに、おしゃべりが過ぎる子、宿題を毎回忘れてしまう子には反省席に座ってもらいます。**中村には他では行っていない暗記時間(30 分)**があります。そこで暗記した内容は必ず毎回確認テストを行っています。また、宿題も毎回細かくチェックし、宿題管理表へ記入、**最後のラストテスト**もしっかり行っております。それら細かなチェックが成績を上げるためのツールだと捉え、曲がらず継続しております。

### ⑤ 週報(中村の核) 3-5 -----

週報＝週刊少年ジャンプのような物(毎週ワクワクして読みたくなるもの)。こう定義しております。毎週、責任者が校舎のいい所を紹介し、それを全校舎で共有していくというものです。ある校舎で上記の中村新聞もスタートしました。それを週報でアップしたら他の校舎も取り入れてやっていこう！ということになりました。英検を取得したい子が多くいる、では**英検講座**として時間を設け合格へ向けて短期講座を開こう。英語の点数が飛躍的に上がった子がいると紹介→その子が**教科書の暗唱**をやっている→週報へアップして全校舎やっていこう。こんな流れでいいものを多くの子供たちに提供していくという中村の原点です。そこで受け継がれていく「名言」も多く生まれ、それは校舎の指針として壁に貼っております。これらの共有は中村が「**全店直営**」だからできることです。全校舎同じサービスを提供しております。



### ⑥ 細かすぎる進路指導 3-6 -----

左記の物は清須校舎の物です。近隣の高校を細かく調査し、そこへ通う手段、時間、大学受験実績、毎年の合格圏内分析(内申、模試の偏差値の分析)。毎回テストが終わると進路指導を行います。中 3 のみならず、**中 1 からしっかりと高校を意識して**やっております。漠然と勉強をしていくよりも目標があると頑張れるものです。それを早いうちから見つけてもらうための進路指導でもあります。

また、テストごとの反省・分析も欠かしません。テストが終わるとその結果を細かく分析し、次へつなげるための反省文、次のテストへの目標記入、これを必ず行っております。そしてそれら記入したものをコピーし、一部は自宅の机に貼ってもらいます。もう一部は塾内へ貼りだしてあります。そこまで拘って細かく指導しております。生徒のために暗記が苦手ならば、覚えられない事項を印字→ラミネートフィルムで下敷きにして配

るということも行っています。そこまで生徒たちのことを考え、この仕事を「**天職**」として全講師指導しております。

### ⑦ 公立入試・学校定期テスト予想 3-7 -----

子供たちが入試でいかに点数を取っていくか、そのためには**問題の分析**(過去をさかのぼり)も大変重要になってきます。中村の講師陣はそれを徹底して行います。ある講師は大学センター試験の問題を解き、分析→予想。ある講師は自分の校舎の各中学校の過去問をすべて解き、傾向を掴んで、テスト前にはピンポイントに出されるであろう問題を予め押さえ、生徒たちに提供しています。すべての事項をしっかりと説明していくのが本当は一番いいのですが、時間も限られており、いかに効率よくピンポイントに指導をしていくかも十分に考慮して指導にあたっております。

### ⑧ 準備マニュアル 3-8 -----

指導にあたり、我々は予習を欠かしません。ベテラン責任者(指導経験 20 年以上)でも必ず行います。もちろん私(佐藤)も授業を行うときは必ず予習をします。相手に間違ったことを教えるのだけは NG です。だから○付けにもこだわっています。**(1 回目の○は赤、直しをした後は青○)**そこは全講師、十分な配慮を欠かしません。中村に「**準備マニュアル**」というものが存在します。これは予習をする時間を確保するためのものでもあります。授業進行表も随分先まで記入がしてあり、講師は予め指導する内容が先まで分かっており、それを前もって予習できる環境を整えております。ですから、わかりやすい、生徒の立場に立った、最高の授業が展開できています。

中村進学会の特徴に「**振替**」という制度があります。急に休んだ時の振替指導です。その子たちは休んだ時の指導を行いますが、他の教室では別の学年が授業を行いますので、どうしても準備が欠かせません。そのため管理表に多くのアドバイスを記入し、やっていく内容、ポイントを記載してあります。講師はピンポイントで解説を行い、生徒はそれを聞き個別演習をしていく。この細かすぎる準備があるからこそ振替を行ってもしっかり指導ができるのです。

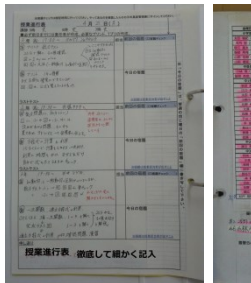
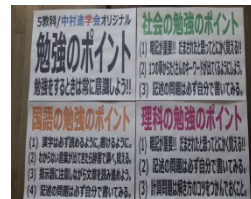
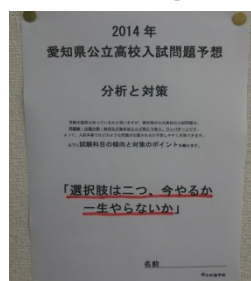
### ⑨ 学習のポイント 3-9 -----

犬山校舎の物です。常に目につくホワイトボードに貼ってあります。「どうしてもこの科目は苦手で点が取れない・・・」こんな子も多くいます。それなら**得意な、点数を取ってきた講師からコツを教わればいい**。毎回目につけばそれは自然と記憶され、子供たちは試してくれます。そして点数が上がれば自信がつき、更にやってみようという好循環が生まれます。そんな的確なアドバイスが教室内には多数あり、貼紙の数は 100 枚近くあります。一度校舎を見学してください。「こんなにも貼紙が・・・」驚かれるはずです。すべて子供たちにいいものをより多く伝えよう、学んでもらおうという思いからの数になっております。**貼紙の多さ＝活気＝子供たちへの情熱、それぞれの志望校へ！**この証明であります。

### ⑩ 中村進学会/命の進行表 3-10 -----

最後に、各校舎の命、進行表の紹介です。左側は 1 日の授業計画表です。各学年の暗記事項(30 分暗記)、1 限 2 限の授業内容、そこでのアドバイス、振替の子の指導内容、講師の担当、すべてがちりばめられています。これ

が少なくとも 2 週間先まで記載しており、担当の講師はしっかりと予習を重ね、生徒へ話す言葉まで考えます。1 時間の中で最初の 15 分は全体でピンポイント解説→残りの時間は個別に各自演習を重ねる「**一問でも多く解く**」これを合言葉に講師はその間グルグルと生徒間を回ります。そこでは決して「**平等指導**」を忘れません。質問のできない子も必ず声をかけ、こちらから入っていきます。右側は授業後の講師の連絡帳です。その日の反省も含め、毎日必ず 1 日を全員が振り返ります。そこで次へ伝えるべきことを全員が共有し、次の指導は今回より、より良いものを！これを追及しております。ダメ出しばかりではなく、その日良かったところ(生徒・講師含め)を記入していくものです。**この細かさが中村にしかない、中村にしかない所**だと自負しております。



※無料体験学習を随時行っております。回数は定めておりません、納得がいくまでお試しください。内容・実績を感じ取っていただけたと思います。

今回、中村進学会の細部を紹介させて頂きました。これだけ細かく子供たちの事を考え、より良い指導を追及している塾はないと自負しております。学習塾とはどうあるべきか、最高の指導法とは何か、日々追求を欠かしません。その一端でも感じ取って頂けたらと思います。